

危機管理学科

【王晋民】

<著書及び論文>

王晋民, 山澤陽平: キャンパス内全面禁煙に対する同意度の影響要因—医療系と非医療系大学生の喫煙イメージと喫煙に対する心理的受容度の比較— 千葉科学大学紀要, 15, 73-82, 2022.

【木村栄宏】

<著書及び論文>

木村栄宏: 総合危機管理学は新型コロナウイルス感染症の蔓延防止に役立つか—リスクマネジメントと企業の経営戦略の観点から—, 総合危機管理, No. 6, 13-23, 2022.

木村栄宏: コロナ禍から考える、危機管理学研究、千葉科学大学危機管理学部危機管理学科、第4号、13-17、2022.

木村栄宏: 知っておきたい危機管理術「新しい資本主義と社会的責任」、地方財務、812, 180-181、2022.

木村栄宏: 知っておきたい危機管理術「事故の記憶を後世に残す仕組みの大事さ」、816, 地方財務、200-201、2022.

木村栄宏: 知っておきたい危機管理術「コロナ禍における自殺者増加」、地方財務、820、地方財務、236-237、2022.

保健医療学科

【 植田成 】

<著書及び論文>

植田成, 平田竜也, 酒瀬川信一: ホスホリボシルトランスフェラーゼ酵素サイクリング反応による高感度ピロリン酸測定法の開発, 第 62 回日本臨床化学会年次学術集会要旨集, 富山, 2022

Shigeru Ueda, Tatsuya Hirata, Shin-ichi Sakasegawa: Hypoxanthine-guanine phosphoribosyltransferase is activated via positive cooperativity between guanine and IMP. FEBS Letters. 596, 1072-1080, 2022

【 木内幸子 】

<著書及び論文>

田中秀樹, 山崎広太, 米谷将悟, 山崎広太, 川名孝亮, 神谷貞浩, 松村聡, 木内幸子, 五郎丸(新海)美智子, 黒田潤, 渭原博, 西口慶一: In silico を用いた新型コロナウイルス感染症ウイルス(SARS-CoV-2)のスパイクプロテインの解析. 第 31・32 回生物試料分析科学会合同学術集会, 2022 年 3 月 13 日, オンデマンド.

渭原博, 木内幸子, 谷あすか, 西口慶一: レチノール結合蛋白 (Retinol binding protein: RBP) のタイプ分類と生理的機能: 文献調査による近年の研究. 第 6 回ワンヘルスサイエンス学会年次学術集会, 2022 年 9 月 3 日, オンライン.

木内幸子: オンデマンド配信下で第 61 回日本臨床化学会年次学術集会に参加して. 臨床検査学教育, 14(1), 97-99, 2022

木内幸子, 渭原博, 大澤進: 人工的なビリルビン試料を利用した日本で開発されたビリルビン体外診断試薬の反応性の調査: 合成デルタビリルビン, 非抱合型ビリルビン, タウリン抱合ビリルビンの検討. 臨床化学, 51(3), 255-256, 2022

航空技術危機管理学科

【 柴田伊冊 】

< 著書及び論文 >

Isaku Shibata: Air Law and Challenge of Outer Space.
Issues in Aviation Law and Policy Vol.22 (1) ,
Chaddick Institute for Metropolitan Development,
DePaul University, Chicago, USA, 103 - 128, 2022

柴田伊冊 : 宇宙空間の法構造への民間航空の浸透に関する
一考察. 千葉大学人文公共学府研究論集 第44号、57-68、
2022

柴田伊冊 : 宇宙空間に適用される国際航空法秩序再編成の
曙. 専修総合科学研究 第30号、57-72、専修大学緑鳳学
会、2022

< 学会抄録集 >

柴田伊冊 : コロナ禍の振り返りから宇宙時代の危機管理を
考える. 第68回日本航空宇宙環境医学会大会抄録集、東
京、2022.

動物危機管理学科

【阿部仁美】

<学会抄録集>

渡邊泉, 番場慧, Theuerkauf Jörn, Gula Roman, 阿部仁美: ニューカレドニアに生息するカグーの微量元素蓄積とその鉱業活動からの影響. 環境化学物質 3 学会合同大会, 富山, 2022.

阿部仁美, 奴賀俊, 光北村亘: 日本鳥学会: 茨城県神栖市の鳥類相. 日本鳥学会 2022 年度大会, 網走, 2022.

【飯田仁】

<学会抄録集>

飯田 仁: 共生藻保有ラッパムシ *Stentor pyriformis* における原形質流動は微小管系?, 第 55 回日本原生生物学会抄録集, 東京, 2022.

【塚本浩司】

<著書及び論文>

塚本浩司: 仮説実験授業における「たのしい授業」概念の形成. 国際教育研究所紀要, (32), 15-27, 2022.

Koji Tsukamoto, Haruhiko Funahashi, Michael Malvern Hull, Haruki Abe, Tomoko Hasegawa, Mariko Kobayashi, Noritake Okazaki: Pupils love molecular models: early exposure of atomism in HEC. Education in Science, (289), 24, 2022.

<学会抄録集>

Haruki Abe, Haruhiko Funahashi, Tomoko Hasegawa, Michael M. Hull, Mariko Kobayashi, Noritake Okazaki, Koji Tsukamoto: Pupils love molecular models: early atomism exposure in HEC. The Association for Science Education (ASE) Annual Conference International day (Online), 2022-01.

【手束聡子】

<学会抄録集>

手束聡子, 星光希: 硝酸イオン選択吸着ポーラスコンクリートの窒素循環に関する基礎検討. 第 56 回日本水環境学会年会講演集, オンライン, 2022.

手束聡子: 層状複水酸化物を配合したコンクリートの海水における元素循環に関する基礎検討(第 1 報). . 第 65 回日本粘土科学討論会, 島根, 2022

【戸塚唯氏】

<著書及び論文>

戸塚唯氏, 伊勢崎翼: 特別活動における道徳教育及び生徒指導. 千葉科学大学教職・学芸員センター通信 9, 9-12.

【坂芳樹】

<著書及び論文>

坂芳樹, 相澤直希, 浅野百花, 生熊優衣, 加藤里緒, 白鳥悠花: Sprague-Dawley ラットにおける妊娠後期の胎児の骨化. 実験動物技術, 57(1), 1-12, 2022.

<学会抄録集>

坂芳樹, 相澤直希, 浅野百花, 生熊優衣, 加藤里緒, 白鳥悠花: ラットにおける妊娠後期の胎児の骨化(1): 頭蓋骨、鎖骨、肩甲骨、胸骨分節、肋骨、寛骨、椎骨の骨化. 第 56 回日本実験動物技術者協会総会抄録集, 松本, 2022.

坂芳樹, 相澤直希, 浅野百花, 生熊優衣, 加藤里緒, 白鳥悠花: ラットにおける妊娠後期の胎児の骨化(2): 四肢骨の骨化. 第 56 回日本実験動物技術者協会総会抄録集, 松本, 2022.

相澤直希, 浅野百花, 生熊優衣, 加藤里緒, 白鳥悠花, 坂芳樹: マウスにおける生後 3, 7, 14 日産児の骨格標本作製法の検討. 第 56 回日本実験動物技術者協会総会抄録集, 松本, 2022.

【坊城俊成】

<著書及び論文>

坊城俊成, 坊城ガブリエラ知子: 大聖堂の建築工匠と『ハンス・ハマーの画譜』に関する研究(その 153) —カロリング朝期のモン・サン・ミッシェル修道院建設地下のノートル・ダム教会堂の発見—, 2021 年度日本建築学会関東支部研究報告集 II, 669-672, 2022.

坊城俊成, 坊城ガブリエラ知子: 大聖堂の建築工匠と『ハンス・ハマーの画譜』に関する研究(その 154) —ロマネスク期のモン・サン・ミッシェル修道院建設修道院教会堂の交差廊とその地下一—, 2021 年度日本建築学会関東支部研究報告集 II, 673-676, 2022.

坊城ガブリエラ知子, 坊城俊成: 大聖堂の建築工匠と『ハンス・ハマーの画譜』に関する研究(その 155) —ロマネスク期のモン・サン・ミッシェル修道院建設修道院教会堂の身廊—, 2021 年度日本建築学会関東支部研究報告集 II, 677-680, 2022.

坊城ガブリエラ知子, 坊城俊成: 大聖堂の建築工匠と『ハンス・ハマーの画譜』に関する研究(その 156) —ヴィーン、シュテファン大聖堂の建築工匠グレゴール・ハウザーによるヴィーンでの活躍—, 2021 年度日本建築学会関東支部研究報告集 II, 681-684, 2022.

坊城ガブリエラ知子, 坊城俊成: 大聖堂の建築工匠と『ハンス・ハマーの画譜』に関する研究(その 157) —ヴィーン、シュテファン大聖堂の建築工匠グレゴール・ハウザーによるクレムスにおける活躍—, 2021 年度日本建築学会関東支部研究報告集 II, 685-688, 2022.

坊城俊成, 坊城ガブリエラ知子: 大聖堂の建築工匠と『ハンス・ハマーの画譜』に関する研究(その 158) —ヴィーン、シュテファン大聖堂の建築工匠グレゴール・ハウザー

が関与したとみられる図面一，2021年度日本建築学会 関東支部研究報告集Ⅱ， 689-692， 2022.

坊城俊成，坊城ガブリエラ知子：フランスの大聖堂建築工匠に関する研究（その1）—カロリング朝期のモン・サン・ミッシェル修道院建設；地下のノートル・ダム教会堂と修道院施設—，日本建築学会北陸支部研究報告集第 65 号，401-404， 2022.

坊城俊成，坊城ガブリエラ知子：大聖堂の建築工匠と『H・ハマーの画譜』に関する研究（その159）—ヴィーン、シュテファン大聖堂の建築工匠グレゴール・ハウザーの活躍—，日本建築学会北海道支部研究報告集 NO.95， 377-380， 2022.

坊城俊成，坊城ガブリエラ知子：カロリング朝期とロマネスク期のモン・サン・ミッシェル修道院教会堂—フランスの大聖堂建築工匠に関する研究（その2）—，日本建築学会北海道支部研究報告集 NO.95， 373-376， 2022.